

① 七人のご先祖さま



文・画
監修 ときわひろみ

つちだしゅう

演出の覚書

つだい 「こんにちわ。

ケアマネジャーのつ
ゆうきさん、一人暮ら
こまつている事ない
友達とおしゃべりした
ディサービスで、

ゆうき 「おー つちださん、

いつもありがとう。
実はよ、昨日の夜

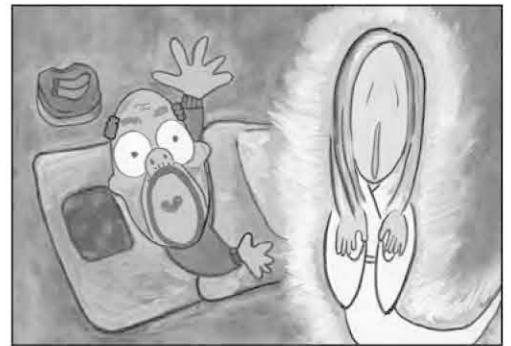
枕元にあらわれたのよ

つちだ 「えーっ 誰があらわ
おそるおそる。

明るい声で。

こちらはサンプル画像です

ゆうき 「ご先祖さまの 代表」と
それで、おれに言つわ



②

先祖代表 「ゆうき、お前はこわ

一人で七人の先祖を

だから

これからは

七人の私らで お前を

七人の先祖で、一日も

お前を助けてやるから

安心して暮らせ。

デイサービスなんか、

行かない。

ゆうき 「って、おれに向かって
言うわけよ。」

(ぬぐ)

こちらはサンプル画像です

【作者紹介】 つちだしゅ

山形県出身。山形紙芝居研究会所属。
紙芝居との出会いは、子どもの夏休みの自由研究のため、紙芝居講座に共に参加したことにはじまる。それ以来、その魅力と奥深さに気づき、手づくり紙芝居の世界にのめりこんでしまった。

現在、ケアマネジャー（介護支援専門員）の仕事をしながら紙芝居を作っているが、ネタには事欠かない。言葉では伝えられないこと、伝わらないことが紙芝居では瞬く間に伝えることができ仕事のモチベーションにもなっている。

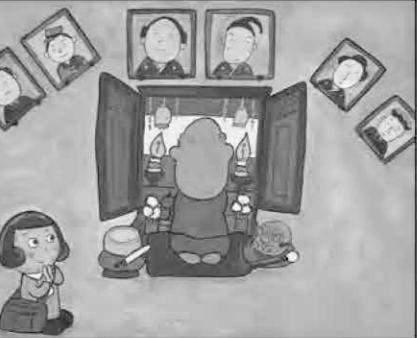
本作は第53回山形県自作視聴覚教材コンクール最優秀賞作品。

れた。

幽霊のように声をか
えて。

うれしそうに。

演出の覚書



③

朝にお
おひき「チ

盆も彼岸も正月も

うまじ、うつむいてあげて

それを、見ててくれて

だから、「先祖さまが

今度 かわりばんこに

おれのことを面倒みる

なかなかできないこと

だから、つちださん

やつぱりティサービス

誰の助けもいらぬ。」

つちだ 「えうですか。

ゆうきさん、

ご先祖さまから助けて

あー ゆうきさんの認に

また、来てみます。」

さて、その夜

お腹をすかせたゆうきさんの

さつそく

(ぬく)

て
じた。

呼び掛けるように。

かんしんして。

小声で。

明るく大きな声で。

こちらはサンプル画像です



④

わたし
私は、お前の

「先祖」

ほれ、ご飯作ったか

「ひよーすばえ。」

さすが料理上手で有名な
一いつまんづだ。

芋煮だ。魚だ。五田だ
お酒もあるよ。

お、この漬物つか
うーん、うまい。うま
みーし、明日は畠さん

んだよ。
んだ。

ややこしい。

元気に。

(間)

といろが、次の日の朝方:
トイして立ったゆつきさん
転じました。

ドッテーン

「うわ」「うわ。」

ピーポー、ピーポー、ピーポー

運ばれたのは町の病院。

⑤



つだ 「ぬつせさん

たいしたことなくて

ところでぬつせさん

一人暮らしなのに

どうやって病院に来ら

「えっ? 誰が救急車上

そりやあ、わかるべ?
ご先祖さまよ。

おれ

やつぱり守られてるも

してるんだ。

イテテテ。」

そして 退院の日。

ドロロロロ~~~~ン

(ぬき)

こちらはサンプル画像です

演出の覚書

高齢者紙芝居シリーズ⑧
『七人のご先祖さま』

2023年3月30日 第1刷発行

文・画: つだ しゅうこ 監修: ときわ ひろみ

発行: 埼玉福祉会 出版部

印刷・製本: 吉原印刷株式会社

新しい視点で図書館を考える



社会福祉法人 埼玉福祉会

〒352-0023 埼玉県新座市堀之内3丁目7番31号
TEL.048-481-2188 FAX.048-481-0752

ホームページ <https://www.saifuku.com>

Eメール: shohin@saifuku.com

©Saitama Fukushikai Social Welfare Corp.2023, Printed in Japan

ISBN 978-4-86596-590-2 C0736



⑥

演出の覚書

山形花笠踊り。
他の民謡のリズミカルなはやし歌でもい
い。

ご先祖

「アハア ヤツシヨ」

シャンシャンシャン。

ゆつき退院おめでとな

わたし むかし 私、昔から踊りが上手
おすすさんだよ。

退院なのに 誰も迎え

いないと思つて来てや

ほれ、友達もつれて來

のつペらさんと ろく

ふたり

ともだち

二人とも、美人だべ?

♪ヤツシヨ マカシヨ

シャンシャンシャン。

サア景氣よく行きまし

(ぬき)

家に帰ると………

ドロロロロ～～～ン

こちらはサンプル画像です

のつペら坊のこと。

一段と大声で。



7

「おう、おそかったな。

今夜はおれの番だ。」

待っていたのは賭け事の大
ばく竹打ちのご先祖さま。

「おめえ、しこたま
あの世に行くには、六

いいか ゆうき！

男だ！ 男を賭ける一

じじで勝負だ！

エイツ ヤーツ。」

「あっ！ 負けた！」

「なんだ、おめえ、弱い
ほれもう一回。

エイツ ヤーツ。」

「ああ へそくり へ

すつてんてんのからつ

(ぬきだだし)

次の日の夜は、さて 誰かな……

「かあちゃんみたな人だといいなー。」

⑧



ドロドロ

なんと、

しみつたれの「ご先祖さまが

ご先祖「なに? とられた?

馬鹿め、賭け事はだめ

いいかゆうき よく聞

人は爪に火を灯すぐ

ドケチに徹底すべし。

あぶく銭では暮らして

まず、物を大切にしろ

つましましく生きる。

とこうことだ。

では、これより

この家の 放まん経堂

ゆうき 「ひえ~ ごかんべんな

年金だけの暮らしです

もう、ビタ一文ありま

そして……次の日の朝には――

(ぬきながら)



⑨

ご先祖 「ぜんたーい、止まれ！」

敬礼！

おれは、日露戦争にちろせんそうに行いじいちゃんのじいちゃん
ゆうき、背中せなかが曲まがつ
背筋せすじのばして！

なんだ？ ニタフニタ

ふん！ しまりねえな
おれが氣合きあいを入れて
腹はらに力を入れろ！ 齒は

ビシッ！ バシッ！

(ぬき)

ゆうき 「ひやー かんべんして
暴力反対ぼうりょくはんたい！ 今は、平へ

こちらはサンプル画像です

「イ！」

ビンタの音。



⑩

おうき 「はあ……

おらあ、とくと疲れた
ご先祖さまに助けられ
巻き上げられたり、ぐ
もう、いやになった。

(間)

(間)

しかし、おれを守つて
みんな個性的だなあ。

一人、二人、三人、四人
お？ あと一人だ。

ああーっ！ 今度は四
おれのかあちゃんだ。
あー、かあちゃん、早

(ぬく)

こちらはサンプル画像です

またち
り、

ため息。

演出の覚書

がつかりしたよう
に。
ご先祖さまを数えな
がら。

うれしそうに。



11

「かあちゃん。」
「とうちゃん、あんた」
じろじろあつたけど
「うわ」「だつたなあ、かわ
ああ、会えてよかつた
いろんなび先祖たままで

「とうちゃん、あんた」
これからは、生きてい
命まつとつできないよ

「なつ わかったね。」

「うわ」「うわ…」「うわ、かあち

二人は、久しぶりにだきあ

次の日の朝…：

(ぬき)

「うわ」「めんぐださーい。」

「あ、あの声は…」

明るい声。

涙声で。

しみじみとうれしそ
うに。



12

「あつ。お待ち申し上^あ_ま_う」

はいはい、デイサービス
よろこんで参ります。
よろしくお願ひします
まず、上^あがつてごうづ
ご先祖さまの話^{はなし}_{せんぞ}
聞^きい

といふことで、

次の日の朝^{あさ}_{つき}

デイサービスのバスが
ゆうきさんの家の前に
と

おしまい

こちらはサンプル画像です

ていねいに。

演出の覚書